

平成20年

6月
定例会

6月3日～
6月20日

議員提案で議員定数1名減!

～多くの討論を交わして、賛成多数で可決～

一般会計補正予算など21議案を可決

6月定例会は6月3日に開会し、市長提出議案、議員提出議案、請願などを慎重に審査し、すべてを議決して6月20日に閉会しました。
最終日には、議会改革特別委員長報告を受けて、議員定数27人を26人とする議員定数条例の一部改正が提出され、賛成多数をもって可決しました。

本定例会に市長から提案された議案等は、報告案件、条例、補正予算、人事案件など16件です。

そのうち報告案件以外は、本会議での説明、質疑の後、各常任委員会で細部にわたり審査を行った結果、専決処分の報告1件(市税条例の一部改正)と市税条例の一部改正については多数決で承認・可決し、その他の議案はすべて原案どおり可決しました。

また、固定資産評価審査委員会と固定資産評価員の人事案件は、いずれも同意しました。

一方、議員提出議案として、戸田市議会議員の定数条例の一部改正条例のほか、意見書4件が提出され、原案どおり可決しました。↓議員提出議案4P参照
後期高齢者医療制度の

廃止や中止等を求める2件の請願は、多数決で不採択となりました。↓討論概要4P参照
一般質問は、10日から3日間にわたり行われ、18人の議員が活発な論戦を展開しました。↓一般質問概要5P参照

議案の概要

〔条例など〕

◎市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、寄附金税制の拡充、公的年金からの特別徴収制度化に伴う規定などの整備です。

◎国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴う規定の整理です。

◎財産の取得
救助工作車の購入です。

- ①金額 8064万円
- ②納入期限 平成21年1月19日
- ③契約者 株式会社モリタ東京ボンブ営業部

〔一般会計補正予算〕

- ①裁判員制度に係る既存住民基本台帳電算処理システム改修業務委託料。
- ②後期高齢者医療制度加入者の人間ドック検診補助金など。
- ③ねんきん特別便相談窓口設置に伴う謝礼。
- ④中小企業緊急特別資金融資貸付金の新規計上。
- ⑤学校給食センター建て替えに伴う基本設計等の業務委託料。

〔専決処分の報告〕
◎市税条例の一部改正
地方税法等の一部改正に伴い、公的年金からの特別徴収制度化、省エネ改修住宅に係る固定資産

議員定数「26人」に 全会派が意見表明

議員定数改正条例は、本会議最終日の議会改革特別委員長報告を受けて、提出されました。

同委員長報告では、地方分権が進む中で議会が果たす責任の広がりなどに言及した上で、昨年10月以来、慎重に検討してきた経過を踏まえ、委員会の大勢として、定数1人削減の方向性を確認した旨の報告がありました。

これを受けて、現在の定数「27人」を、来年1月の一般選挙から「26人」とする議員定数条例の改正案が提出され、提案理由の説明の後に、全会派の討論が展開され、賛成多数をもって可決いたしました。

提案説明

公明党
神谷雄三 議員

議会が自立度を高めなければならぬ時を踏まえて、客観的な資料に基づき議論を進め、その意見の大勢としては、本市議会は大きく定数を減らす状況にはないと結論しました。

また、偶数の定数にするのと同時に、地方自治法で定める、最小規模の市の上限と同じ「26人」にするものです。

議員一人当たり市民数は約4600人と、今まで以上にその代表性を増しながら、将来の有為の市民が市議会に飛び込める門戸を開けておける数ではないかと考え、提案するものです。

反対

日本共産党
望月久晴 議員

民主政治の根本を担うのは、各層から多様な市民の意見を代表して選出された議会議員です。本市の議員一人当たり人口は、定数26人となれば、埼京線開通時の2倍になります。それだけ議員と市民の関係が希薄になるということです。



▲傍聴風景

賛成

平成会
伊東秀浩 議員

諸物価の高騰、雇用・老後の不安を抱えながら苦しい生活を送っている市民感情や、行財政改革をさらに進める上から、議員だけが従来そのままよいということ、到底道理が通りません。さらなる削減を求めていたところですが、多数の意思は重く受けとめ、受け入れざるを得ません。

賛成

志政クラブ
石井民雄 議員

他市の議員定数の状況、市民意識を尊重して議員定数を削減することはいたしかたない部分もあるが、その削減数は二元代表制の趣旨や、進展する地方分権時代における議会の責務を考慮する必要がある。議員定数は一度減らしたら、よほどのことがない限り増やせるものではないので、慎重に判断し、削減数1とする本案に賛成するものです。

賛成

民主クラブ
高橋秀樹 議員

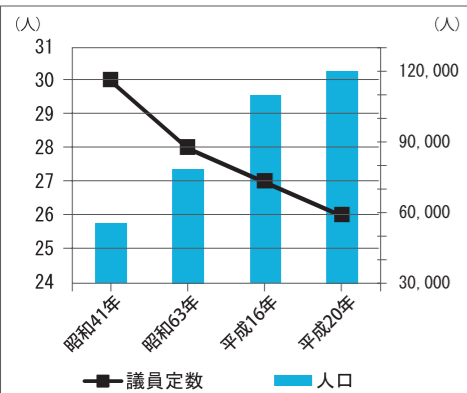
定数の削減によって、経費の削減効果は顕著にあらわれるが、市民の声を市政に反映することや、二元代表制のもとで行政のチェック機能としての役割も低下します。お互いに違う立場で議論してこそ、新しい発想も生まれ、市政の発展につながると思います。

賛成

公明党
手塚静枝 議員

会派の検討では、①二元代表制からいって、議会の力量低下への懸念、②意思決定機関の責任の重さ、③人口や財政規模が増加傾向にあること、④議会費における経費節減の状況、⑤議員定数は自主的に21%減らしている

戸田市の人口と議員定数の推移



26人となっても、行政への監視機能や政策提言などは、従来とささかも揺るぎなくできるものと確信

税の減額措置の創設など。

〔人事案件〕

◎固定資産評価審査委員会委員

中島孝雄氏(再任)
◎固定資産評価員
高野 勉氏(新任)

新しい学校給食センターの概要

- 建設予定地 新首南4-3(現戸田競艇場バスターミナル内の一部を使用)
- 敷地面積 約3,500㎡
- 建築面積 1,690㎡
- 延べ面積 2,250㎡
- 基本コンセプト
 - ・予定食数 約6,000食
 - ・完全ドライ方式の調理施設
 - ・アレルギー対策調理室
- 平成23年度開設予定

永年勤続議員表彰

おめでとうございます

毎年、全国市議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された市議会議員に対して表彰が行われます。20年度は、本市議会から花井伸子議員が15年表彰を受賞されました。



花井 伸子 議員

市議会では、6月定例会の冒頭で議長から伝達するとともに、その功績をたたえました。また、戸田市議会議員表彰規程による表彰もあわせて行いました。

※ドライ方式……調理台や床を常に乾いた状態に保ち、食材の二次汚染を防止するシステム。